

会 議 録

1 会議名

令和6年度第5回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・令和5年度の吉川ゆったりの郷における市及び指定管理者の収支状況等について

・令和5年度の吉川スカイトピア遊ランドにおける市及び指定管理者の収支状況等について

・協議事項（公開）

（1）「上越市立吉川地区公民館竹直分館の廃止について」の諮問に対する答申について

（2）「上越市立吉川地区公民館源分館の廃止について」の諮問に対する答申について

・自主的な審議（公開）

（1）頸北地区地域協議会委員合同研修会について

（2）自主的審議事項について

・今後の自主的審議の進め方について

・自主的審議事項「公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」

・その他（公開）

4 開催日時

令和6年10月17日（木）午後6時30分から午後7時54分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：上野達也、薄波和夫、太田和広、大滝健彦、斉藤崇人、関澤義男
田中久美子、田邊良子、新部嘉夫、橋爪隆之、武藤正、山岸晃一
- ・事務局：柿崎区総合事務所 五十嵐産業グループ長、吉川区総合事務所 風間所
長、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平
原総務・地域振興グループ班長、熊木総務・地域振興グループ副主幹

9 発言の内容（要旨）

【平原班長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員 12 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：太田委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平原班長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・会長報告は特にない。委員から報告はないか。
（「なし」の声あり）

【山岸会長】

- ・事務局報告をお願いする。

【平原班長】

- ・市に指定管理施設の収支状況等について柿崎区産業グループから説明がある。柿崎区総合事務所産業グループ長からお願いする。

【柿崎区総合事務所五十嵐産業グループ長】

（資料 No. 1-1、1-2 により説明）

【山岸会長】

- ・ご意見、ご質問ないか。

【橋爪委員】

- ・ゆったりの郷で利用者数が昨年より 1,300 人ほど増えているかと思うが、利用料金が 700 万円ほど減っている理由は何か。

【柿崎区総合事務所五十嵐産業グループ長】

- ・きちんとした分析は行っていないが、一番大きいのは、休業した 2 か月分と思う。それまでは、入込等が順調に伸びてきたところである。これによって予定していた人数等も若干減ってきているのかと思う。

【山岸会長】

- ・ほかにいかがか。なければ、私から。どちらの施設も老朽化が進んでいると思うが、計画的に修繕、改修或いは増設等計画を立てているのか。

【柿崎区総合事務所五十嵐産業グループ長】

- ・温浴施設については、施設ごとの修繕計画はないが、毎年度、予算時期に指定管理者と修繕個所を協議して対応している。温浴施設の今後の在り方等については以前にも地域協議会に説明しているが、次期適正配置に向けた検討の中で、今後地域の皆さんと話し合いながら決めることになっており、その際は、説明に伺いたい。

【山岸会長】

- ・できるだけ前向きに取り組んでいただきたい。ほかに質問ないか。
- ・それでは、五十嵐グループ長が退席される。

【山岸会長】

- ・事務局ほかにないか。

【平原班長】

- ・ほかにない。

【山岸会長】

- ・では、次の協議事項に移る。(1)「上越市立吉川地区公民館竹直分館の廃止について」の諮問に対する答申についてである。このことについて前回の地域協議会で皆さんからいただいた意見を元に先日の正副会長会議で協議し、整理したのがお手元の資料 No. 2-1 になる。この内容で良いか。

(「はい」の声あり)

【山岸会長】

- ・では、修正なしということで答申させていただく。

- ・次に移る。協議事項(2)「上越市立吉川地区公民館源分館の廃止について」の諮問に対する答申について、資料 No. 2-2 の内容で良いか諮る。いかがか。

(異議なし)

【山岸会長】

- ・では、この内容で答申する。

【橋爪委員】

- ・日付は今日の日付で良いか。

【山岸会長】

- ・事務局、今日の日付で良いか。

【平原班長】

- ・今日決めていただいたので、今日の日付で答申を行う。

【山岸会長】

- ・では、今日の日付となることを皆さんご認識いただきたい。
- ・次に自主的な審議に移る。まず、頸北地区地域協議会委員合同研修会の内容について、前回の地域協議会で皆さんから4班では人数が多く議論できないとの意見をいただいたことから、先日の正副会長会議で検討し、研修会は6班で、また懇親会については原之町のえびす屋で行う。この件について、皆さんのご意見を伺う。

(声なし)

- ・研修についてもう1点ある。今年度は吉川区が研修会の当番になっているため、当日の研修会や懇親会の受付等を皆さんにお願いしたい。この件について、事務局から説明をお願いします。

【熊木副主幹】

(研修会当日の業務内容について説明)

【山岸会長】

(委員に希望の担当業務を聴取し決定)

【山岸会長】

- ・次に「(2)自主的審議事項について」に移る。まず初めに「今後の自主的審議の進め方について」である。現在、自主的審議事項は「公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」、「尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について」、そして「若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について」の3つある。今後どのように進めるかを皆さんからご意見を賜りたい。

- ・公民館分館の話は、さきほど諮問に対する答申を決めていただいたが、初めての委員もおられるので、繰り返し言う。最初に分館廃止の提言があって社会教育課が各分館を回って説明している。地域協議会も一緒に地域住民との意見交換をしているが、我々が問題にしているのが、古くなってあまり使っていない建物は別に（廃止しても）良いじゃないかということではなくて、元々やっていない公民館活動について、分館という看板を掲げていながら、ほとんど活動がされていない。それで、老朽化、使っていない、廃止という方程式になっている。これに関しては先月の定例会でも関澤委員から強い発言をもらっている。その部分も含めて正副会長と事務局で話し合ってきているが、後ほどお話しさせていただきたい。ほかの2つ「尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化」についてと「若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について」の2つをどうするかということになると思う。公の施設に関しては、旭（吉川地区公民館旭分館と吉川旭地域生涯学習センター）が残っているので自主的審議は続けるが、とりあえずこの間の関澤委員の意見を含めて附帯意見を付けて答申を出した。今回もどのように協議会として附帯意見では載せられない部分を載せるかという話をさせていただきたい。
- ・では、先ほどの2つについてどのように進めていくか皆さんにお諮りしたい。どちらを先にしたら良いか。子育て支援策については、実際に現地視察で阿賀野市に行った。道の駅も視察した。国も県も子育て支援をしっかりと考えているので、協議会として吉川に移住された2、3人に意見交換を行いどうして吉川を選んだかを聞いた。今後そういう取り組みも含めて皆さんから提案いただければと思っているがいかがか。順番に聞く。武藤委員いかがか。

【武藤委員】

- ・今すぐに思い浮かばない。

【橋爪委員】

- ・子育て支援の問題は、子どもが周りにいないので子どものいる保育園に移動してしまう。それで若者が出てしまう。さらに近くに仕事場がないので直江津に近いほうに出てしまうということで、悪循環になっている。そのために子ども支援策はなかなかないが、子どもに支援というよりも若者が定住する策の方が良いと考える。

【新部委員】

- ・どちらかと言うと、今言われたように子育て、若い人の定住、長くいてもらうためにアイデアがあれば皆さんで出し合うのも一つと思う。順番にするなら、そっちの

方を先に。

【田邊委員】

- ・私も子育ての方を先にしてもらった方が良いと思う。

【田中委員】

- ・私は移住者ですが、子育ても非常に苦勞している部分もある。子育て世代の親の支援と子どもの遊び場がないことも、道の駅活周辺の活性化に繋げて考えたら良いと思っていた。

【上野委員】

- ・子育ての方を優先してもらい、吉川区には若い人が少ないので、どうにか若い人たちが住みやすいような感じに作っていただいた方が良いと思う。

【太田委員】

- ・子育て支援を進めてもらいたいと思うが、源地区で言うと川谷方面に地域おこし協力隊の方がいる。子どもさんが小学生とかいるので、まず、親としては子どもをどう育てるのが一番心配ではないかと思う。子どものことを考えると、「じゃあ、ここにはいられないな」ということにもなる。学校の通学とかいろいろ問題があると思う。親が安心できるような仕組みを作ってもらえれば良いと思う。

【大滝委員】

- ・私も子育ての方が優先かと思う。ただ、田中委員が言ったとおり若者が道の駅を中心にして前回の地域協議会でもあったと思うが、子どもが遊ぶところ、あったら子どもがいるという訳ではないが、道の駅の整備も協議しながら子育て支援を重点的に考えていければと思う。いずれにしても、働くところが地元になんないということが一番の問題。今、農業が主幹産業だと思うが、農業で食べていけないというのが実際あると思うので、この間の酒まつりの時も東京の方が来られたのでお話しさせていただいた。やはり若い人達がいなんないということは、ここで働いて生活して行ける基盤がないということになる。それを何らかの方法で作っていかんないといずれは若者がいなくなるということ突き詰めて考えていかなければならない。両方とも本当に大事であるし、これがあればある程度できると思う。何が良いか、市や県が考えた中でいろいろアンテナを張ってこういう支援があったら良いということ考えながら皆さんと協議していけたらと思う。

【齊藤委員】

- ・やはり子育ての方を先に考えていただきたい。田中委員と同じで、ここに住んでい

る親をまず安心させてやることも含めて。それが吉川の子育ては良いよという話で外に広がって行ければ周りの魅力を感じた人たちもこっちの方に流れてくれればと考えている。ゆっつりの郷の前の開発や尾神の開発も私の中ではいろいろ考えがある。子育てを中心に考えた中で尾神もしくはゆっつりの郷をああすればという意見が出てくれば、その時点でしていただければと思う。

【関澤委員】

- ・今、吉川は急速に人口減少している。もうどちらかに付かないと駄目な時代が来ると思う。そういう危機感を持たないといけない。65歳以上が66%くらいで、働く人が2割か3割しかいない。これは難しい問題だ。我々の力では到底できないかもしれない。吉川区はもう人口3,000人を切るか切らないかくらいになった。我々がどうするかと議論してもどうしようもならない。我々高齢者が何とかその地で生き延びる力というか、安全・安心の環境を目指すということではないか。なぜ吉川の人口が少ないかと言えば、働く場所がないのです。大潟、頸城、柿崎には工場がある。みんな歴史がある中で来ている。吉川は竹直で小さい工業団地があるだけである。私は、吉川は観光の町としてやればどうかと思う。尾神岳の伝説など観光の地域という形でやればと思う。少しの観光でも良い。

【山岸会長】

- ・それはそれで今後皆さんと取り組むかというのは協議したうえでやっていきたいと思う。どうやってもしょうがないというのはなく、私たちは何をやってもどうにもならないということをはいけない立場だ。

【薄波副会長】

- ・私は、どちらも大事だが、子育てとか若者の定住はかなりハードルが高すぎて非常に難しい問題で、上越市でも同じ事やっているがなかなか成果が出ていない。吉川にとって何が一番手っ取り早い、手っ取り早いと言ったら失礼かもしれないが予算付けさえすればある程度吉川全体が活性化するような動きをしていけば、それによって子育て、定住も結びつくのではないかと思う。どちらかと言えば、道の駅、尾神のことを進めていけば両方とも繋がっていくのではないかと思っている。あと、自主的審議の進め方であるが、部会を作って進めるということもあるが年間計画を立てて1年目は、2年目はもう一方という形で区切った形で皆さんと協議して行って3年目の最後の年にそれを精査して意見書なりで出すという進め方も良いのではないかと思う。私としては、優先順位としては道の駅の活性化の方を先に進めたい

と思う。

【山岸会長】

- ・一通り皆さんの意見を承った。大方が子育て支援を含む若者の定住、移住を促進する方で進めたらという意見が多かったかと認識した。最後に副会長が言ったスケジュール的な部分も決めていただいて目途を立てながら次の題材に取り組むというやり方もありかと思う。まずは定住・移住を進めるための子育て支援を含んだ対策を自主的審議として取り組むことから始めることで良いか。

【橋爪委員】

- ・先程の質問は、なんとなく子育ての方に走っていたので、そちらの方に答えたが、薄波副会長が言われたように、まずはハードルの低い方をやって達成感が出ると次に行けるのではないかと思う。最初からハードルの高いのを1年目にするとなかなか次に進みにくい。どちらが目標を持って達成できるかというのを選んで大事さもあるが、そういうやり方もあるかと思った。

【山岸会長】

- ・そういう意見もいただきましたが、あれもこれもというのは厳しいので絞りながらやっていきたい。別に子育て支援がすべてではなくて、定住・移住、先程どなたかが言った吉川に企業がないという部分も含めて我々が市に対して、市長に対してどういうふうな意見書にまとめていったら良いのかという部分も皆さんの考えもあるだろうし、地域の考え方もあるし、組織の考え方もある。そういうのを協議して行ったらいかがかと思うが、どうか。橋爪委員の意見ももちろんだが、皆さんの意見をお聞きして決めたいと思う。とりあえず意見の多かった進め方で良いか。

(「はい」の声あり)

- ・では、皆さんの声が多かった、定住・移住に向けた子育て支援を含めた協議で行こうと思う。今年度で進めていきたいと思う。よろしいか。

(異議なし)

- ・次に先ほどの言った公民館分館の件の意見書に附帯意見ではなく、それよりももっと具体的な意見書をもって市長に提出するということについて皆さんから伺いたい。この間の関澤委員の言葉を含めてこういうので良いかという程度で皆さんにお示ししたい。源地区の方は村屋町内会で借りるという流れなので廃止してここに解体や整理ということにはならない。皆さんの意見を入れたいと思う。意見をいただきたい。では、関澤委員から。

【関澤委員】

- ・ほとんど私が考えていることが入っている。市では解体するつもりがあるのか、それとも永久的に残すのかという 2 択をはっきり聞かないといけない。解体までの管理として、獣がそこに住みついたり、風が吹いて屋根のトタンが隣の住宅に被害があった場合など、誰が補償してくれるのか。その建物があるために被害が出たら問題になる。この 3 点は具体的で良いと思う。意見書も工夫しながら市に出すということをしないと後で大変なことになる。

【齊藤委員】

- ・細かく書いてあって良いと思う。

【大滝委員】

- ・私も良いと思う。防犯上の問題があった方が良く思う。

【太田委員】

- ・源の旧校舎ももう何年も前から集落懇談会のたびにいつ壊すのかという話が出るが、行政側からはいつと話は全くない。屋根はふかふか、雪は落ちない。草刈りは周りの人がやってくれるが、やり場がない話だ。体育館は避難所になっていて、そこまでは除雪してもらおうが、屋根に雪が溜まると危険だ。

【上野委員】

- ・旭の分館は、残ることになったのでありがたいが、このような意見書を上げて進めてもらいたい。

【田中委員】

- ・私の近所にはないので、ピンとこないが、先ほど太田委員が言われたように近所で困っているという声を聴いて優先順位を付けてあげたら良いと思う。

【田邊委員】

- ・私もこれで良いと思う。源の旧校舎は本当に危ないので速やかに、こまめに情報はいただきたい。

【新部委員】

- ・確認だが、4 番の協議事項の(1)、(2)と別に 1 枚意見書を追加するということか。内容としては、これで良いと思う。これに対して、市として何か答えてくれるのか。

【山岸会長】

- ・意見書として出すと 1 か月以内に市が回答する。

【新部委員】

- ・どのような回答かわからないが、回答するというのが決まっているのか。

【山岸会長】

- ・決まっている。先月の定例会の時に答申内容の中に附帯意見がつくが、それだけでは指摘が足りない。意見的に弱いのではという意見も多々あった。具体的な部分は答申に書き込めないので、意見書としてまとめて、市側の回答をもらうということである。

【橋爪委員】

- ・先月の不安内容がすべて書かれていると思うので、私は良いと思う。

【武藤委員】

- ・これで良いと思う。

【平原班長】

- ・今ほど市の回答の話が出たが、諮問の答申にも附帯意見を付けていただいているので市は附帯意見について回答する。

【薄波副会長】

- ・こちらの方が具体的な内容なので良いと思う。先ほど大滝委員が言われた防犯を追加した方が良いのではないかと思う。

【山岸委員】

- ・先程、答申案をお決めいただいたとおり、泉谷、東田中、勝穂は、ほぼ答申内容が出ていてそれに対する市の答えももらってある。恐らくそれより踏み込んだ答えは、あるはずはない。だから、なおさらこういう具体的な意見書としてやる必要が出てしまう。防犯という部分も付け加えた方が良いと思う。文書にまとめるには、これは大変なので、原文を作って皆さんにお示しし、了解をいただいた後に意見書として提出したい。今回はまだ残っている施設があるが、これに答えてくださいという内容になると思う。それで良いか。次に6その他に移る。委員から何かないか。

【関澤委員】

(地域独自の予算「吉川区と上杉家の繋がり」大乘寺の歴史伝承事業について報告)

【山岸会長】

(関澤委員の報告の補足説明)

- ・ほかにないか。なければ次回の地域協議会の日程を諮る。11月21日午後6時30分からで良いか。

(異議なし)

- ・最後に閉会の挨拶を薄波副会長にお願いする。

【薄波副会長】

- ・以上で第5回吉川区地域協議会を閉会とする。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-548-2311（内線 213）

E-mail：yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。